

すこやかガイド

母子・歯科・成人保健事業

年間日程表を町ホームページに掲載しています。
事業内容や実施日時の詳細は、町ホームページをご確認ください。



▲町 HP

予防接種

対象者、接種時の持ち物、接種回数、間隔等の詳細は町ホームページをご確認ください。



▲町 HP

令和8年度高齢者インフルエンザ予防接種、高齢者コロナウイルス感染症予防接種

対象 本町に住民登録があり、次の条件のいずれかにあてはまる方

- ① 65歳以上の方
- ② 60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（いずれも身体障害者手帳1級相当の障害）を有する方

※対象②にあてはまる方は、疾病の程度を証明できるもの（身体障害者手帳等）を持参の上、接種前に保健センターへ申し込みが必要です。

接種期間 10月1日（木）～令和9年1月31日（日）

愛知県広域予防接種事業で接種を希望する方は、10月15日（木）～令和9年1月31日（日）

実施場所 海部地区（大治町・津島市・愛西市・弥富市・あま市・蟹江町・飛島村）の指定医療機関

接種料金 高齢者インフルエンザ予防接種 1,500円

高齢者コロナウイルス感染症予防接種 6,000円

接種回数 年1回

接種方法

- 指定医療機関で接種を希望する方は、事前に医療機関へ予約し、接種料金、本人確認書類（マイナ保険証、資格確認書、身体障害者手帳など）を持参の上、接種期間内に接種してください。
- 海部地区の指定医療機関以外（愛知県広域予防接種事業等）で接種を希望する方は、事前に手続きが必要です。接種の2週間前までに保健センターへお問合せください。

※対象の方に対し、予診票の送付はありません。医療機関に備え付けの予診票を使用します。

※定期予防接種の対象とならない方または対象者であっても接種期間外に接種した方は、任意接種（全額自己負担）となります。

保健推進員主催 運動教室 申込制 「健康の体感」

疲れやストレス習慣などで体全体のゆがみ、身体のバランスが崩れている方にお勧めします。

全日本全体の伝統ある整体道を体感してみませんか。心地よさと確かな技術で初めての方でも安心です。

とき 11月11日（水）午後1時30分～2時30分
受付開始 午後1時15分

ところ 保健センター健康館すこやかおおはる

対象 町内在住の方

※小学生以下は保護者が同伴してください。

定員 16名 ※定員になり次第締め切り

持ち物 タオル、バスタオル、飲み物、動きやすい服装

申込期限 11月4日（水）

保健推進員養成講座（入会説明会） 申込制

●保健推進員

健康づくりのボランティアです。任期や年齢制限はないため、だれでも参加できます。この養成講座を受講・入会後に、体操教室などの活動ができます。

自分のために、家族のために、地域のために、仲間と一緒に活動しませんか。

●養成講座

2時間ほどの説明会兼講座です。健康づくりに関する活動のための情報をお伝えします。

とき 10月30日（金）午後2時～4時

受付開始 午後1時50分

ところ 保健センター健康館すこやかおおはる

申込期限 10月23日（金）

「あなたの健康を守る第一歩～がん予防とがん検診のお話～」

申込制

日本人の2人に1人が一生のうちにがんになると言われています。しかし、生活習慣を見直すことで予防できるがんもあり、早期発見・早期治療のためには定期的ながん検診が大切です。がんを予防するための生活習慣やがん検診の重要性、正しい知識について、分かりやすくお話しいたします。ご自身や大切な家族を守るため、この機会に一緒に学びませんか。

とき 10月23日(金)午後2時～3時

ところ 保健センター健康館すこやかおおはる

対象 町内在住の方

内容 がん予防とがん検診についての講話

講師 愛知県がんセンター がん情報・対策研究分野 分野長 いとう ひでみ 伊藤 秀美 氏

定員 30名 ※定員になり次第締め切り

持ち物 筆記用具

問 保健センター健康館すこやかおおはる ☎(444)2714

神経系難病医療相談 申込制

とき 10月15日(木)午後2時～4時

ところ 津島保健所 1階 相談室2

対象 神経系難病患者およびその家族

内容 専門医による医療相談

定員 4名(4組)程度(先着順)

難病患者・家族教室(第2回) 申込制

とき 10月26日(月)午後1時30分～3時

ところ 愛西市佐織総合福祉センター 2階 会議室

対象 神経系難病患者およびその家族

内容 講演および実技「食べる・伝える ～口腔のリハビリとケア～」

※講演後に歯科衛生士からの情報提供と交流会を行います。

講師 海南病院リハビリテーション室 言語聴覚士 みわ かなこ 三輪 加那子 氏

定員 20名程度(先着順)

申込期限 10月19日(月)(月～金曜 午前9時から午後5時まで)

問 津島保健所 健康支援課 ☎0567(26)4137

歯と口の健康講座



海部歯科医師会

お口の中の細菌

大人の口の中には、300～700種類の細菌が生息しているといわれています。

歯をよく磨く方で1000～2000億個、あまり歯を磨かない方では4000～6000億個、さらにほとんど磨かない方では1兆個もの細菌が住み着いています。

細菌と聞くと、だれしもあまりよくないイメージを抱くかと思いますが、お口の中に細菌がいること自体が悪いことではありません。例えば、乳酸菌などの善玉菌は、口腔内の酸性度を調整し、むし歯の予防に役立ちます。

また、口腔内の細菌は、体内に侵入しようとする病原菌を防ぐ役割もあります。しかし、菌量をコントロールできていないとどうなるのでしょうか？むし歯や歯周病になるだけでなく、口臭の原因にもなります。そして、唾液を飲み込むことで体内に細菌が侵入し、また、歯周病で炎症(出血)を起こしている歯肉の血管に細菌が入り全身をめぐることで、全身疾患を引き起こすリスクへと繋がっていくのです。体の健康を保つには口腔内の菌量を良好なバランスで保つことが大切です。

歯周病によって危険性が高まる全身疾患の事を、歯周病関連全身疾患症候群と呼びます。代表的なものをあげると、誤嚥性肺炎や脳卒中、心筋梗塞などがあります。誤嚥性肺炎は、細菌を唾液とともに飲み込むことで、気管支の粘膜や肺に炎症が起こります。とくに高齢者はリスクが高く、重症化すると最悪命を落とすこともあります。脳卒中や心筋梗塞は、歯周病菌が歯肉から血管内に侵入することで、血管が狭くなったり傷ついたりして発症のリスクが高まります。

このように、口の中の細菌は全身をめぐるさまざまな疾患を引き起こすのです。口腔内の菌量をコントロールすることが大切なのはお分かりいただけたかと思います。では、どうやってコントロールしていけばいいのでしょうか。まず、何より大切なのは口腔内を清潔に保つことです。毎日の歯磨きはもちろん、歯磨きでは取れない汚れは定期的に歯科医院でクリーニングをしましょう。